

ネットワークシステム 及び インフラ仕様書

公益財団法人武蔵野市福祉公社

2019 年 7 月 10 日

1. この仕様書について

この仕様書はネットワークシステム及びインフラ一式を提案する事業者に向けた公益財団法人武蔵野市福祉公社情報システム更新事業者選定プロポーザル実施要領を補い、「15 提出書類」に定める「企画提案書」を作成するための資料である。なお、提案にあたってはこの仕様書のすべての要件を満たす必要がある。

2. システム更新イメージ

<現在のシステム構成>

拠点 2	拠点 1	拠点 3
高齢者総合センター	本 部	北町高齢者センター
事務系PC VPNで本部事務系サーバと接続	事務系サーバ VPNで各拠点と接続 (文書類をすべて保管)	事務系PC VPNで本部事務系サーバと接続
	事務系PC⇄事務系サーバ接続	
	業務系サーバ 特定のシステムを保存・管理 VPNで各拠点と接続 人事・給与システム	
VPNで本部業務系サーバと接続	会計システム	
・業務系PC(会計システムのみ1台)	介護システム①	介護システム①
	居宅介護支援①、訪問介護 貸付システム(バックアップのみ保管)	業務系PC(デイ北1台)
介護システム② (デイ高・居宅介護支援②)	業務系PC⇄業務系サーバ接続	

※拠点 2、3 は V P N で拠点 1 へ接続し、拠点 1 からファイアウォールを経てインターネット接続

<更新後のシステム構成>

<ul style="list-style-type: none"> ●データセンター または クラウドにサーバを構築 ●全社サーバ(文書等保管・運用) ⇒ 導入進捗次第で一部ワークフローシステムで運用予定 ●勤怠システム (全拠点で導入) ●人事・給与システム(本部総務課・高齢者総合センター1、北町高齢者センター1導入) ●会計システム(本部総務課・高齢者総合センター1、北町高齢者センター1導入)※既存システムを移設 ●介護・障害システム(本部訪問介護・居宅介護支援、高齢者総合センターデイ、北町デイで導入) ●権利擁護システム(本部対象PCのみ導入) ●貸付システム(バックアップのみ保管)※既存システムを継続使用 		
拠点 2	拠点 1	拠点 3
高齢者総合センター	本 部	北町高齢者センター
ノートパソコン タブレット*	ノートパソコン	ノートパソコン タブレット*
* デイサービスのみ導入 デイ高は新介護システム導入		* デイサービスのみ導入 デイ北は新介護システム導入
介護システム② (居宅介護支援②)		
・居宅介護支援②のみ継続使用		

※拠点 1、2、3 それぞれがデータセンター (クラウド) へ接続し、ファイアウォールを経てインターネット接続

3. 新システム構成案

No	区分	品目	システム利用数						
			A	B	C	D	E	F	G
1	介護支援システム	居宅介護支援	4						
2		訪問介護	16						
3		通所介護		5	3	2	6	6	2
4	障がい者総合支援システム	障がい訪問系請求管理システム	16						
5	権利擁護システム	相談管理システム	12						
6		地域福祉権利擁護事業システム	4						
7	就業管理システム	就業管理システム	47	17			36		
8	人事・給与管理システム	人事・給与管理システム	5	1			1		
9	ワークフロー・スケジュールシステム	ワークフロー	47	17			36		
10		スケジュール							
11		コミュニケーション							

A：本部におけるシステム利用数（PC）

B：北町デイサービスセンターにおけるシステム利用数（PC）

C：北町デイサービスセンターにおけるシステム利用数（タブレット）

D：北町デイサービスセンターにおけるシステム利用数（音声入力）

E：高齢者センターにおけるシステム利用数（PC）

F：高齢者センターにおけるシステム利用数（タブレット）

G：高齢者センターにおけるシステム利用数（音声入力）

※就業管理における打刻は非接触ICカード式タイムレコーダの導入を想定
「本部」「北町デイサービスセンター」「高齢者センター」に各1台の設置予定

※非接触ICカード[※]に関しては100枚の利用を想定

4. ネットワークシステム及びインフラ構成に関する要件

導入インフラ構成は「事業者選定プロポーザル実施要領」記載のとおり、「企画提案書」に内容を記載する。

<基本方針>

(1) 基本ソフトウェア（OS）

サーバ： Windows 2016 または 2019

クライアント PC： Microsoft Windows 10

※弊社が使用するパソコンおよびシステム導入業者の保守作業で使用する特定のパソコンしか接続できない環境とする。

(2) ブラウザ

Internet Explorer、および Microsoft Edge で動作可能とする

(3) タブレット

介護保険請求システム、通所介護にて使用想定（詳細は様式5の3 システム要件チェックリスト介護保険・障害者総合支援システム参照）

<導入インフラ構成>

(1) サーバ構成（ASP、クラウドを除く）

- ・上記システムが正常に稼働できるスペックであること
- ・オンプレミスサーバの場合は下記仕様を満たすデータセンターに設置すること
- ・データセンターは稼働率が、99.95%以上であること
- ・データセンターは 24 時間 365 日稼働していること
- ・障害が起きた際の RTO(目標復旧時間)は、4 時間以内であること
- ・データセンターのサービスレベルは、「データセンター ファシリティスタンダード/日本データセンター協会(JDCC)制定」の「ティア 3 以上」とする
- ・データセンターは日本国内の地震や津波等の震災に対して、安全が確保されている場所に設置されていること
- ・データセンターの建屋が免震、または耐震構造であり、自社発電設備を有していること
- ・自家発電は、48 時間の稼働を確保していること
- ・設備の冗長化対策が取られていること
- ・電源、空調設備が冗長化されており、無停止対策が取られていること
- ・データセンターは、ISO20000（IT マネジメント規格）、ISO27001（情報

セキュリティ規格)の認証を取得していること

- ・データセンターは事前に申請された者のみが入館可能な仕組みを用意していること
- ・入館が、IDカード、生体認証、監視カメラ等により、24時間365日のモニタリングと履歴の把握がされていること
- ・入館からサーバラックの開錠、施錠、退館まで多段階のセキュリティチェック機能と監視がされていること
- ・データセンターの社員のみならず協力先企業も含めて、セキュリティに関する誓約書を交わし、定期的な教育を実施していること
- ・データセンター完全性の確保のため正当な権限を持たない人により、意図せざる変更が加えられないための管理体制が構築されていること
- ・サーババックアップシステムはバックアップソフトの重複排除機能を活用し、30世代まで確保できる構成にすること
- ・保守窓口で運用、環境、操作、障害対応および障害原因切り分け等の問い合わせを、フリーダイヤル、FAXおよびE-Mailで対応ができること
- ・障害が発生した場合、リモートメンテナンスにて状況確認ができること
- ・リモートメンテナンスで障害が解決しない場合、担当エンジニアがデータセンターに入室して対応できること
- ・ハード障害において、OS再インストールが必要になった場合OS再インストール作業を行い、担当エンジニアと連携して復旧支援対応を行うこと
- ・電話受付は24時間365日対応が可能なこと
- ・サーバーハードウェア修理のオンサイト対応は24時間365日対応が可能なこと
- ・復旧支援は平日午前9時から午後5時対応が可能なこと

(2)ネットワーク構成(拠点間接続/インターネット接続)

- ・【本部】【高齢者総合センター】【北町高齢者センター】の3拠点は、それぞれデータセンターまたはクラウドに接続すること
- ・回線サービスは、閉域網を形成するためのアクセス回線とすること
- ・インターネットに接続する際、利用するFirewall・Internet接続サービスおよびWebウイルス対策サービス、Webフィルターサービスについては、全拠点共通の設定とすること
- ・データセンタ接続ルータは、設定済みのルータをレンタル機器として設置する事が出来ること
- ・データセンタ接続ルータ閉域網を形成するためのアクセス回線、インターネット接続の環境構築およびネットワークに適合した設定ができること

- ・ **Firewall・Internet** 接続サービスは、インターネットへの接続とインターネットからの不正侵入等の脅威を防ぐサービスを含むこと
- ・ セキュリティ上の問題があった場合、申告日より起算して1ヶ月前までのログを調査し、状況を報告出来ること、それ以前のログについては、調査対象外としログを破棄すること
- ・ インターネットへの接続は、グローバル IP、DNS、NTP 等のプロバイダサービスを提供すること
- ・ **Internet** 接続サービスに **Web** サイト（**HTTP** プロトコルおよび **FTP** プロトコル）からのウイルス感染を防ぐサービスを含むこと、また状況によっては、**Web** ウイルス対策サービスを無効化する事も可能であること
- ・ コールセンターでの電話受付およびオンサイト対応は最低限平日午前9時から午後5時とすること
- ・ **Firewall・Internet** 接続サービスの設定変更作業、ルータレンタル機器故障時の修理対応、障害の原因調査、サービスの操作問合せについては、最低限平日午前9時から午後5時対応可能とすること

(3)有線 LAN 構成

各拠点のメインスイッチは下記の仕様を満たすこと
運用管理を遠隔で実施する事も含め代行サービスを提供出来ること。対応時間は最低限平日午前9時から午後5時とすること

- ・ スイッチ機器の死活監視を遠隔で実施すること
- ・ スイッチ機器の稼働状況をリアルタイムでクラウド上にて確認できること
- ・ スイッチ機器故障時には、オンサイト機器交換が、最低限平日午前9時から午後5時対応可能とすること
- ・ トラブル時に、クラウドから端末の接続環境をリアルタイムで確認し、切り分けから対応まで可能であること
- ・ スイッチ機器にてアプリケーションの可視化が可能であること
- ・ スイッチ機器不具合の際に、機器交換対応が加入から、5年以上可能なこと
- ・ クラウドとの接続断や LAN ケーブルの抜けを検知し、管理者へアラートメールを送信できること。

(4)無線 LAN 構成

- ・ 無線 LAN 機器は各拠点の全範囲を網羅できるように設置すること
- ・ 無線 LAN は下記仕様を満たすこと

※クライアント 30 台が同時接続した場合にも、設置した無線アクセスポイントから障害物の無い状態で 20M 程度の場所をカバーし通信品質

や耐久性等の面で問題ないものであり、以下の規格・機能を満たしていること

性 能		
最大データレート	無線規格	セキュリティ
1.3Gbps 5GHz：866 Mbps 2.4GHz：400Mbps	Wave2 2x2：MU-MIMO 2.4 and 5 GHz dual band 802.11b/g/n×1 802.11a/n/ac×1 WIDS/WIPS×1	SSID ステルス機能 MAC アドレスフィルタリング [※] WPA 2 PEAP 認証機能

- ・無線アクセスポイントをインターネットに接続すると設定がクラウドからダウンロードされ通信が可能になること
- ・無線アクセスポイントの稼働状況をリアルタイムでクラウド上にて確認できること
- ・無線アクセスポイントの死活監視を遠隔で実施すること
- ・端末追加や Wi-Fi 接続設定など、運用管理を遠隔で実施する事も含め代行サービスを提供出来ること、なお、対応時間は最低限平日午前 9 時から午後 5 時とすること
- ・Wi-Fi 接続不可等のトラブル時に、クラウドから Wi-Fi 接続環境をリアルタイムで確認し、切り分けから対応まで可能であること
- ・無線アクセスポイント故障時には、オンサイトにて機器交換が最低限平日午前 9 時から午後 5 時対応可能とすること
- ・無線アクセスポイント不具合の際に、機器交換対応が加入から、5 年以上可能なこと
- ・無線アクセスポイントに接続し端末が利用したアプリケーションの可視化、制御が出来ること
- ・社内に物理的なコントローラー、認証サーバーを構築する必要がないこと
- ・遠隔での無線アクセスポイントの設定変更の作業回数に上限を設けないこと

(5)既存システムの引継ぎ

(ActiveDirectory、WindowsServerUpdateServices、ファイルサーバ、資産管理システム、ウィルス対策システム)

○ActiveDirectory

- ・現行 ActiveDirectory の設定を引き継ぐこと
- ・ActiveDirectory スキーマは最新バージョンに対応すること
- ・現行 ActiveDirectory の機能の見直しと再設計を行うこと

○WindowsServerUpdateServices（以降 WSUS）

- ・最新の WSUS の設計および設定を行うこと
- ・Windows10、および Office2019 の修正プログラムの適用ができる仕様にする
- ・WSUS のデータ保存領域は 2TB 以上確保すること

○ファイルサーバ

- ・WindowServer であること
- ・データ領域を 2TB 以上確保すること
- ・冗長化されており、障害時無停止によるディスク交換等の作業ができること
- ・CPU は 2.20GHz/13.75MB 以上であること
- ・メモリは 8GB 以上であること
- ・電源を冗長化すること
- ・バックアップを 30 世代以上取得すること

○資産管理(SKYSEA)

- ・現行の SKYSEA の設定を引き継ぐこと
- ・構築時点の最新のバージョンにバージョンアップすること
- ・最新の SKYSEA の設計および設定を行うこと
- ・SKYSEA の自営保守ができること（メーカー保守は NG）

○ウィルス対策(ウィルスバスターCorp)

- ・現行のウィルス対策ソフトの設定を引き継ぐこと
- ・構築時点の最新バージョンにバージョンアップすること
- ・最新のウィルス対策の設計および設定を行うこと
- ・ウィルス対策ソフト(ウィルスバスターCorp)の自営保守ができること

(6)クライアント PC

クライアント端末はノートパソコンで下記要件を満たす機種とすること

OS	Windows10 Pro 64bit
CPU	Corei5-8250U (1.60Ghz) 以上
メモリ	8GB 以上
HDD	暗号機能付 256GB SSD
モニタサイズ	15.6 インチ
Office	Office Home&business 2019
内蔵無線 LAN	IEEE802.11ac&Bluetooth

- ・国内メーカーの機種を推奨とする

- ・環境対応としてエコマークを取得していること
- ・バッテリー駆動は 7 時間以上とする
- ・USB×2 ポート以上を搭載する
- ・パソコン本体の修理は自営保守でオンサイト対応が出来ることが望ましい
- ・設定や操作についてメールや電話で相談可能な保守受付窓口が利用できること、なお、対応時間は最低限平日午前 9 時から午後 5 時とすること

(7)企画提案書に最低限必要な内容

- ・プロジェクト全体概要(ネットワークシステム及びインフラ)
- ・納品ハードウェアおよびソフトウェア一式
- ・全体スケジュール（進捗管理表）
- ・実施計画書
- ・サーバ構成

